

沖縄県うるま市における 訓練場整備に関する説明会

令和6年2月11日（日）
防 衛 省

ご来場の皆様へのお願い

- ① 会場及び敷地内での、拡声器やのぼり旗、プラカード等の持ち込み、使用は禁止となります。
- ② 大声等により進行を妨げる行為は慎んでください。
- ③ 係員の指示に従ってください。
- ④ 会場内は全て禁煙となっておりますので、喫煙される方は所定の場所をご利用ください。

ご来場の市民の皆様が、十分に説明を聴くことができるよう、皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

なお、他の皆様に迷惑となる行為が確認された場合には、退場して頂くこともございます。

説明会次第

I. 我が国を取り巻く安全保障環境・情勢認識

II. 防衛力の抜本的強化の取組

III. 沖縄本島における訓練場整備の意義

IV. 訓練場検討地域における施設整備

V. 質疑応答

I. 我が国を取り巻く安全保障環境・情勢認識

① 国の防衛の必要性

国際社会が戦後最大の試練の時を迎える中で日本は

- ✓ 戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しており、欧州で起きていることが**東アジアでも起こる可能性**は排除されません。
- ✓ 「力による一方的な現状変更」を抑止するためには、**相手の能力に着目しつつ、新しい戦い方に対応できる防衛力を備える**必要があります。



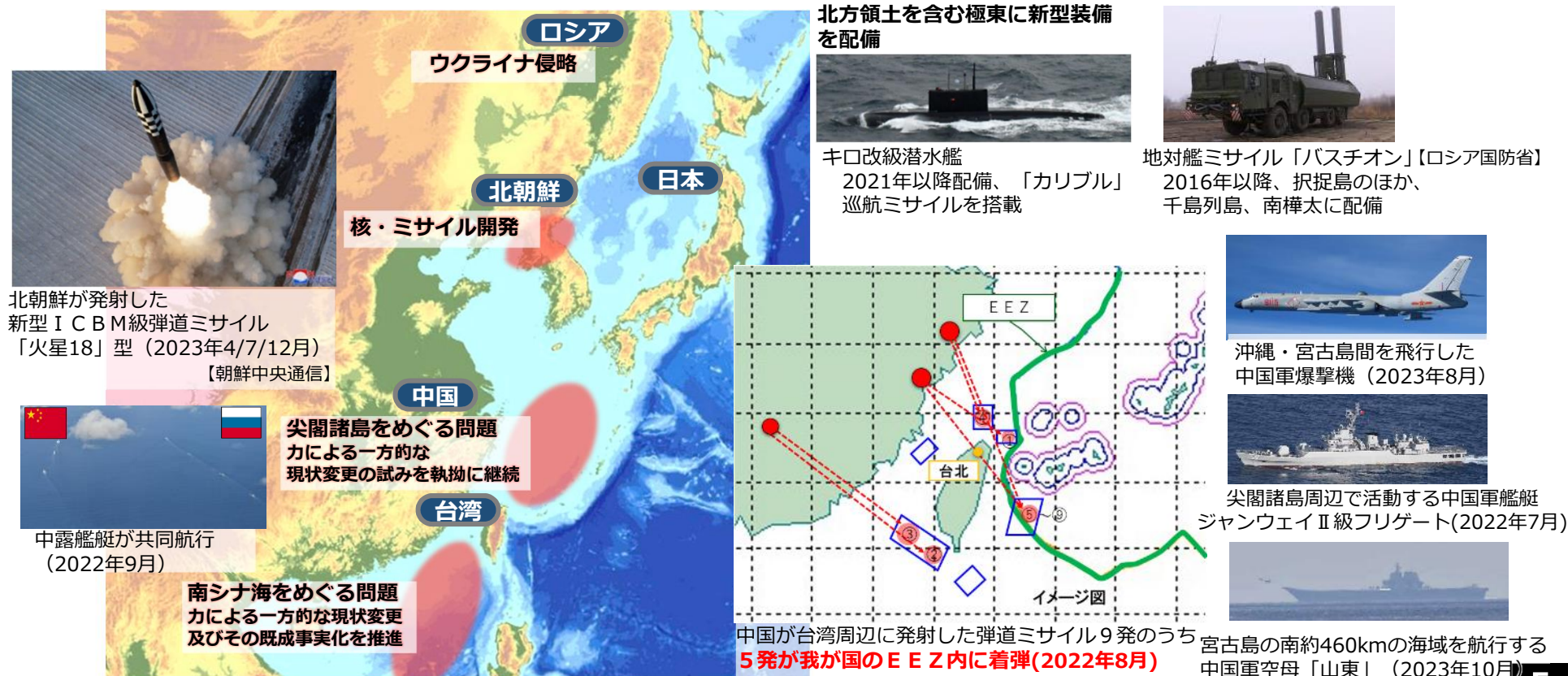
軍事力強化や軍事活動活発化の
最前線に位置

東シナ海、南シナ海をめぐる
問題に直面

② 我が国周辺の安全保障環境

我が国は、戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境に直面

- ✓ 中国、北朝鮮、ロシアが**軍事力を増強しつつ軍事活動を活発化**する中、我が国は、**その最前線に位置**しています。
- ✓ インド太平洋地域における軍事活動の活発化が地域、ひいては国際社会全体にどのような影響を及ぼすか注視していく必要があります。
- ✓ 今後の我が国の安全保障・防衛政策の在り方が、**地域と国際社会の平和と安定に直結**します。



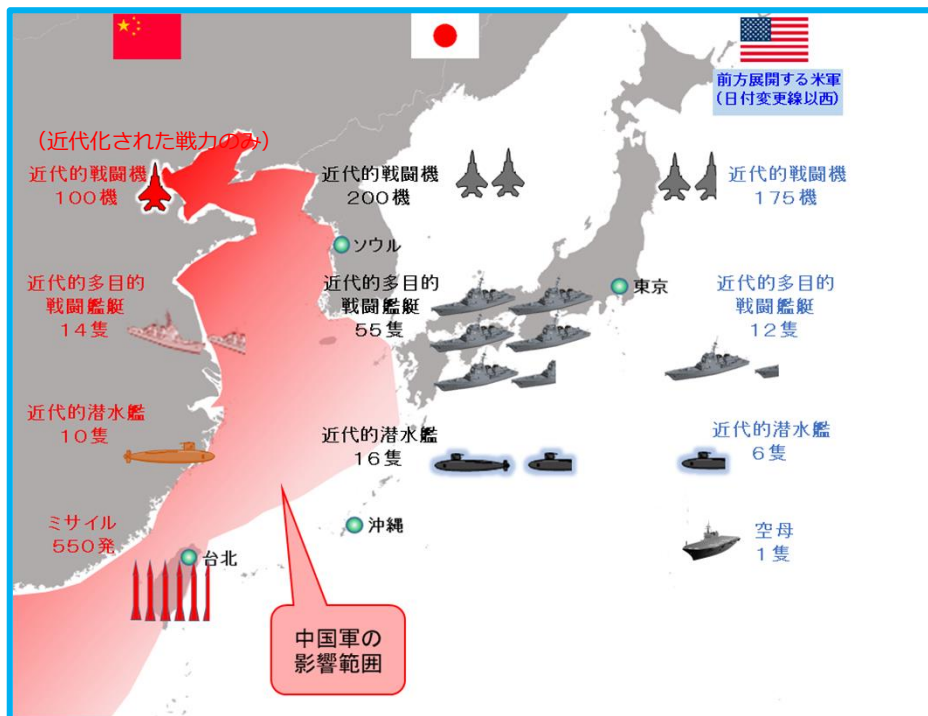
③ 我が国を取り巻く安全保障環境の変化

中国の急速な軍備増強がもたらす米中のパワーバランスの変化

- ✓ 中国は、今世紀半ばに「世界一流の軍隊」を築き上げることを目標に掲げています。
- ✓ 2025年（予測）になると、中国の軍事的影響圏は日本列島を覆うほど大幅に拡大し、このままでは米中の戦力バランスも中国側に優位に傾くことになります。

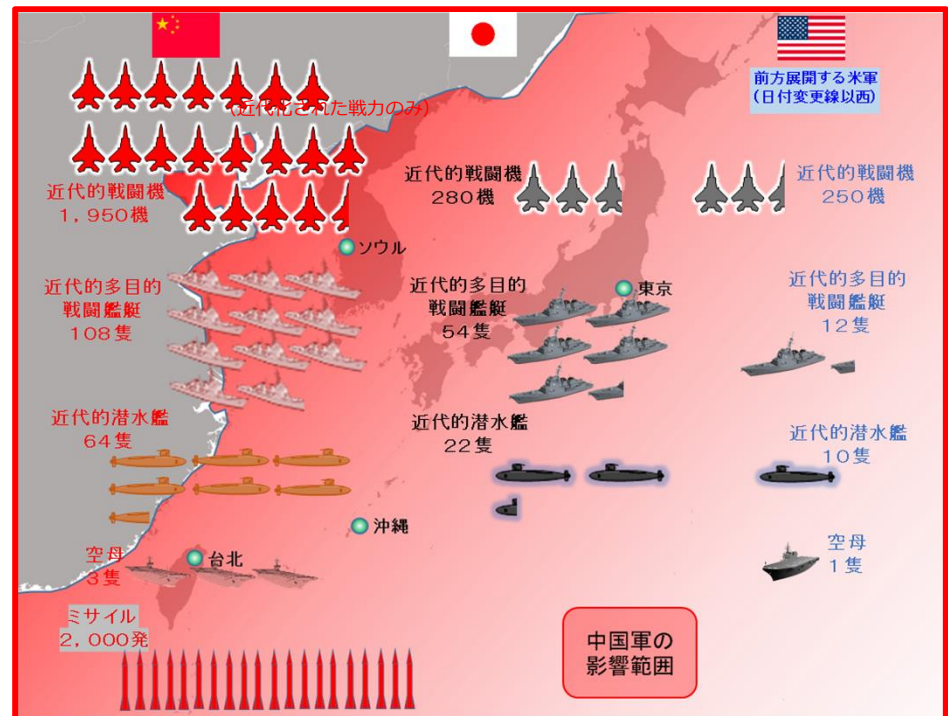
西太平洋における1999年の米中の能力

- 中国の軍事的影響圏は、第一列島線内にとどまっている



西太平洋における2025年の米中の能力(予測)

- 影響圏は拡大し、米中の戦力バランスも中国側に優位に傾く



(インド太平洋軍作成資料を基に防衛省作成)

凡例



: 近代戦闘機 × 100機



: 近代多目的戦闘艦艇 × 10隻



: 近代潜水艦 × 10隻



: 空母 × 1隻



: 弾道ミサイル × 100発

Ⅱ．防衛力の抜本的強化の取組

① 防衛体制強化の取組

国全体で防衛体制を強化

主な防衛体制強化の取組

【これまでの取組】

- 陸上総隊（東京都）の新編
- 水陸機動団（長崎県）の新編
- 即応機動連隊（北海道、山形、香川、熊本）の改編
- 電子戦部隊（日本各地）の配置
- 宇宙作戦群（東京都、山口県）の新編
- 三沢基地（青森県）へF-35Aの配備
- 美保基地（鳥取県）へKC-46Aの配備
- 無人機（青森県）の配備

【今後の計画】

- 火薬庫（約130棟）の整備（予定）
- 統合作戦司令部（仮称）（東京都）の新編（予定）
- 佐賀駐屯地（仮称）（佐賀県）の開設（予定）
- 竹松駐屯地（長崎県）へ第3水陸機動連隊（仮称）の新編（予定）
- 湯布院駐屯地（大分県）へSSM部隊の配置（予定）
- 新田原基地（宮崎県）へF-35B 2個飛行隊を配備（予定）
- 小松基地（石川県）へF-35A 2個飛行隊を配備（予定）
- 岐阜基地（岐阜県）へスタンド・オフ電子戦機を配備（予定）
- 呉基地（広島県）へ海上輸送群（仮称）の新編（予定）
- 久里浜駐屯地でシステム通信・サイバー学校（仮称）の改編（予定）



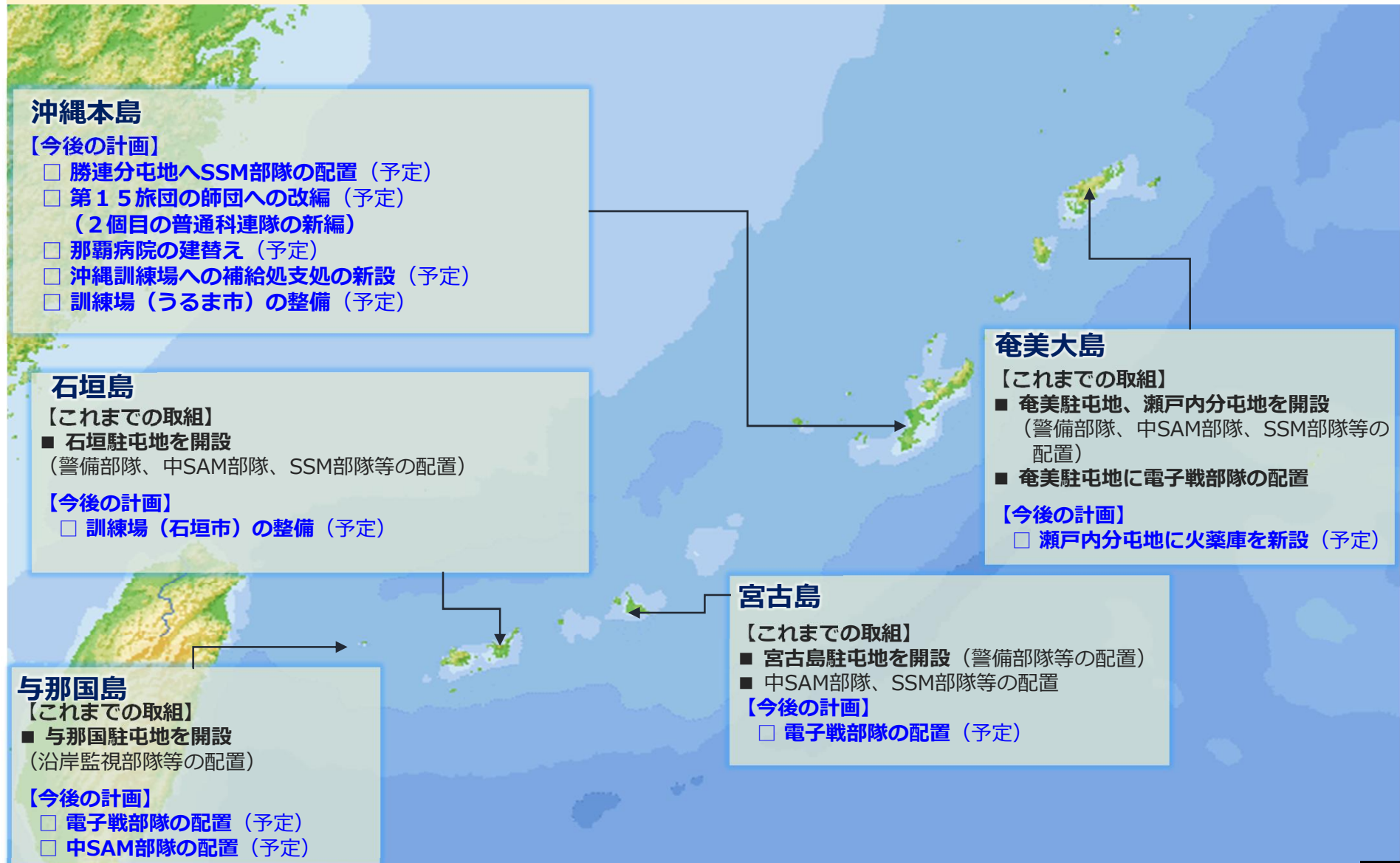
主な日米共同訓練

【これまでの取組】

- 米陸軍との実動訓練（オリエント・シールド23）
【北海道ほか】
- 英陸軍との実動訓練（ヴィジラント・アイルズ23）
【青森、宮城、新潟、群馬ほか】
- 日米豪共同方面隊指揮所演習（YS-85）
【北海道、東京、宮城ほか】

② 南西地域における防衛体制強化の取組

広大な海域と多数の離島を抱える南西地域の防衛体制を強化

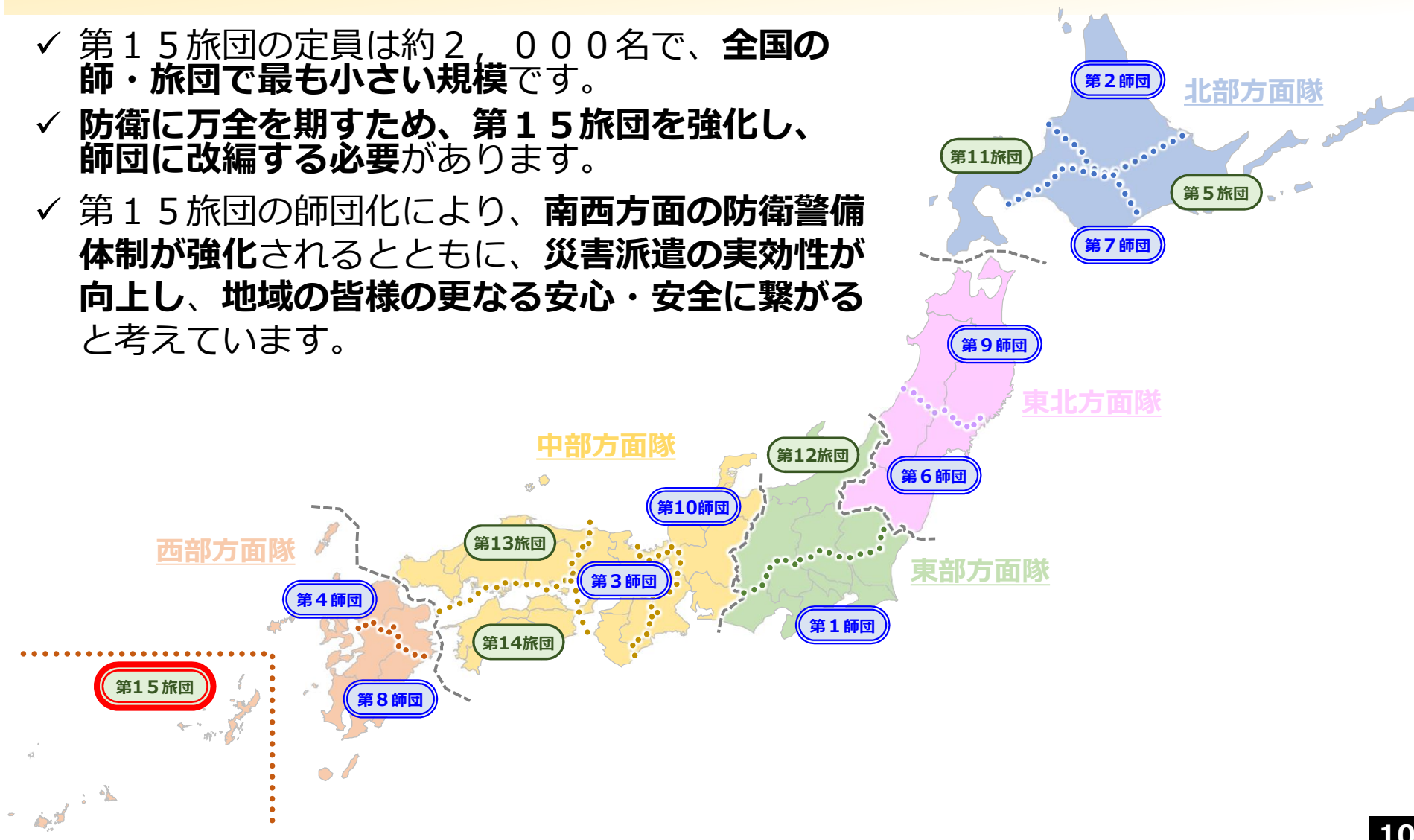


※中SAM部隊：中距離地对空誘導弾部隊、SSM部隊：地对艦誘導弾部隊

③ 陸自第15旅団の師団への改編について

**第15旅団は、地域の警備や災害派遣を担当し、
沖縄県全域を守っている部隊です**

- ✓ 第15旅団の定員は約2,000名で、全国の師・旅団で最も小さい規模です。
- ✓ 防衛に万全を期すため、第15旅団を強化し、師団に改編する必要があります。
- ✓ 第15旅団の師団化により、南西方面の防衛警備体制が強化されるとともに、災害派遣の実効性が向上し、地域の皆様の更なる安心・安全に繋がると考えています。

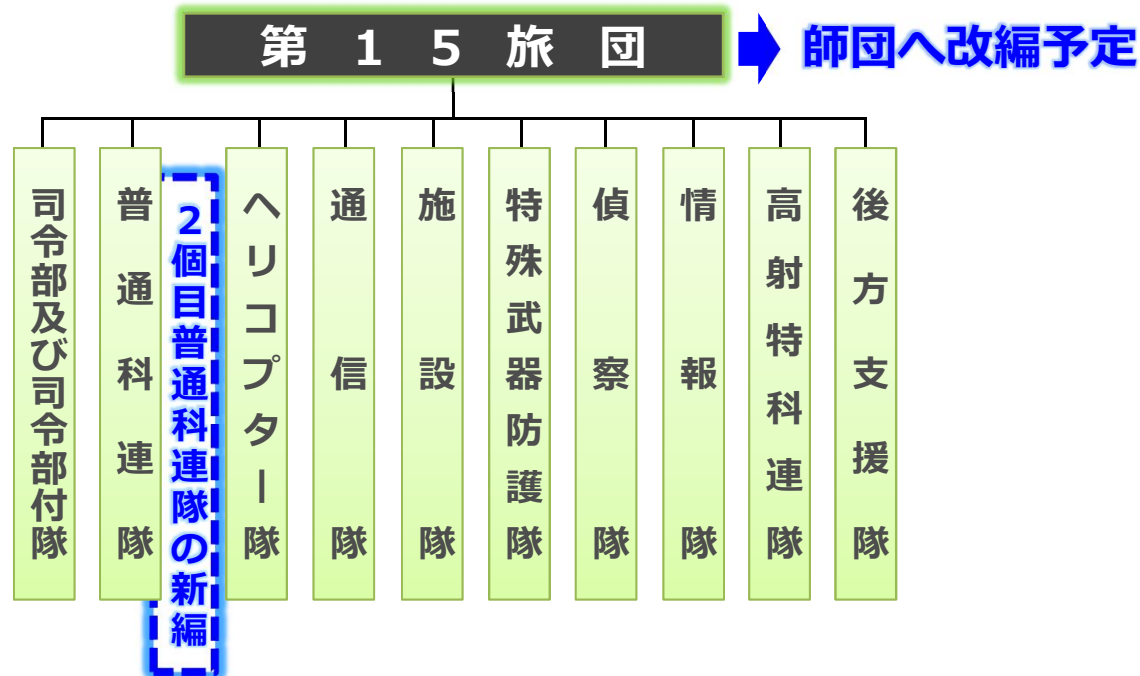


Ⅲ. 沖縄本島における訓練場整備の意義

① 新たな訓練場整備の必要性

沖縄本島に訓練場が不足しています

- ✓ 防衛力整備計画において陸上自衛隊第15旅団を師団へ改編することとしており、その一環として、**現在那覇駐屯地に所在する1個普通科連隊（第51普通科連隊）を2個普通科連隊に増強する計画**です。
- ✓ 沖縄本島には訓練場が少なく、**2個目の普通科連隊の新編による人員の増加に伴い、新たな訓練場が必要です。**



補足：沖縄県内における陸上自衛隊の訓練場の現状

- ✓ 沖縄本島には陸上自衛隊の訓練場が3か所あり、沖縄本島に所在する部隊は、これらの訓練場等において必要な訓練を実施していますが、他の師団、旅団の管轄区域内に所在する演習場、訓練場と比べ、十分ではありません。
- ✓ 既存の訓練場のみで、1個普通科連隊の新設に伴う訓練所要の増大への対応は困難な状況です。

・那覇訓練場

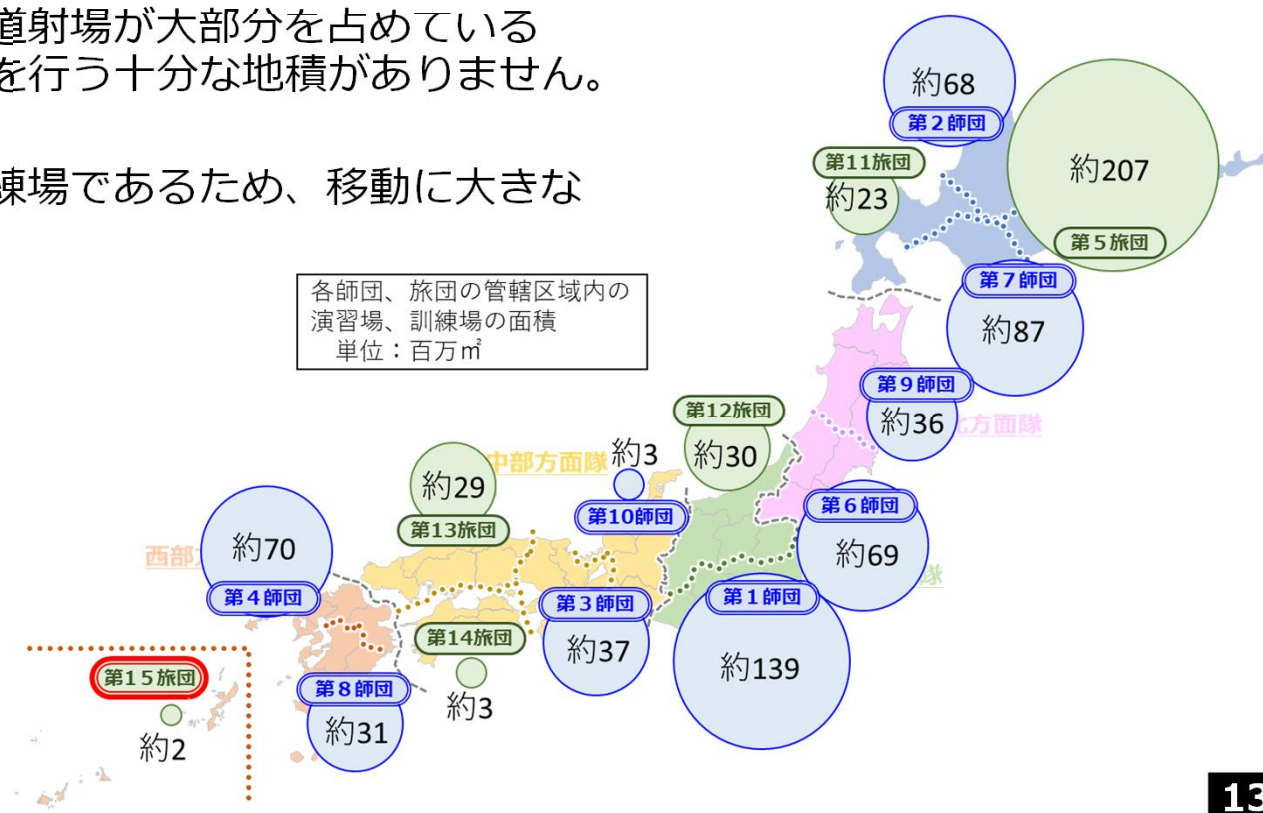
年間を通じて訓練を実施しており、大幅な訓練所要の増加への対応は困難です。

・沖縄訓練場

実弾射撃訓練を行う覆道射場が大部分を占めているなど、部隊が展開し訓練を行う十分な地積がありません。

・浮原島訓練場

洋上の島に所在する訓練場であるため、移動に大きな制約があります。



② 東山カントリークラブを選定した主な理由

- 訓練が可能な一定の広さの面積を確保できること
 - ✓ 東山カントリークラブは約20ヘクタールの面積があり、
必要な内容・規模の訓練が可能
- 沖縄本島の中部に位置し、部隊が使用する上で
利便性が高いこと
 - ✓ 沖縄本島に所在する那覇駐屯地や勝連分屯地
等からの**アクセスが良好**
- 既に開発された土地であり、訓練場の
整備工事による**自然環境や周辺への
影響を局限**できること
- 自然災害が発生した際、**自衛隊の活動
拠点及び地域住民の避難場所としても
活用**できること



③ 訓練場としての使い方

- ✓ 訓練場では、うるま市をはじめとする沖縄本島の皆様の生命・財産を守るために必要な訓練を行います。
- ✓ 訓練場は、自衛隊の訓練場として使用するものであり、**米軍の使用は想定していません。**
- ✓ 使用に当たっては、**周辺地域の静謐を確保し、地域への影響を最小限にするため、次の措置を講じます。**

i

実弾、空包、照明・発煙筒などの化学火工品は、使用しません。

ii

ヘリは、災害時や緊急時などを除き、飛行しません。

iii

夜間の訓練を実施する場合は、周辺住民の皆様にご通知します。

iv

車両は、住宅密集地を避けて走行します。

④－１ 予定する訓練の概要

新隊員の教育

- ✓ 新隊員の教育のため、射撃動作等の各個の訓練、警戒・警備訓練を行います。
- ✓ これらの訓練において、**実弾、空包、照明・発煙筒などの化学火工品は使用しません。**

訓練イメージ



81mm迫撃砲操法訓練
(非実射)



宿営訓練



警戒・警備訓練
(非実射)

④ー2 予定する訓練の概要

災害への対処訓練

- ✓ 災害情報の収集、人命救助、炊き出し、入浴支援等、各種災害への対処等を想定した訓練を行います。
- ✓ また、災害時に情報収集や搜索活動などで使用するドローンの操縦訓練も行います。

訓練イメージ



災害対処訓練（救護）



災害対処訓練（炊き出し）



災害用ドローンの操縦訓練

④－３ 予定する訓練の概要

部隊の訓練

- ✓ 普通科部隊等の訓練や、部隊を展開させる訓練を行います。
- ✓ これらの訓練において、**実弾、空包、照明・発煙筒などの化学火工品は使用しません。**

訓練イメージ



普通科部隊等の訓練
(非実射)



部隊の展開訓練
(非実射)

⑤－１ 訓練の実施に当たっての配慮事項

夜間の訓練

- ✓ 夜間の訓練では、**大きな音や振動、光は出しません。**
- ✓ 行進訓練や偵察訓練等は、夜間にも実施することがあります。
- ✓ その際は、**周辺住民の皆様事前に通知**するなどの措置を講じます。

訓練イメージ



行進訓練（夜間）



偵察訓練（夜間）

⑤ー2 訓練の実施に当たっての配慮事項

車両の走行

- ✓ 車両は、**住宅密集地を避けた経路を走行します。**
- ✓ また、**通勤・通学時間帯の走行を避け**、隊列を組むことなく、**少数の車両に分けて走行**します。

車両イメージ



訓練に使用する車両の一例

⑥ 大規模災害時における訓練場の活用

地域の安心・安全の拠点として活用します。

- ✓ 石川地区において津波等の大規模災害が発生した際、**自衛隊の活動拠点として訓練場の活用を検討**しています。
- ✓ **地域住民の皆様の一時的な避難場所としても活用**できるよう、今後、自治体や関係機関と調整していきます。

自衛隊による災害派遣活動例（令和6年能登半島地震）



人命救助



給水支援



救援物資の輸送

IV. 訓練場検討地域における施設整備

①ー1 訓練場の整備（東山カントリークラブ）

〈スケジュール〉

- ✓ 訓練場の整備に当たっては、**用地取得後、調査・設計を行い、工事を実施する予定**です。

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	用地取得	調査・設計	工 事

〈整備内容〉

- ✓ 外柵及び入門ゲート等を整備予定です。
 - 既存の地形を活用するため、**大規模な造成工事等はありません。**
 - 境界を明確にし、安全を確保するため、**訓練場の境界沿いに外柵を設置します。**
 - 既存の植生を生かしつつ、外から訓練の状況が見えないように、必要に応じて植栽をする予定です。

①ー2 訓練場の整備（東山カントリークラブ）



訓練場整備のイメージ（外柵及び植栽）



訓練場整備のイメージ（ゲート）



取得範囲等のイメージ

V. 質疑応答